

2025 年 6 月 16 日

国土交通省航空局航空ネットワーク部
部長 秋田末樹 様

航空労組連絡会
議長 赤坂潤一郎

適正取引のガイドライン策定にあたっての提言
～持続可能なグランドハンドリングに向けて～
＜追加提言＞

本件については、4 月 15 日に「適正取引のガイドライン策定にあたっての提言」を提出し、航空労組連絡会（略称：航空連）としての「基本的な考え」および「具体的な取り組み事項」を提言しました。また、今後は現場実態を踏まえた具体的な提案を重ねていく意向であることもお伝えしたところです。

このたび、各社の状況や現場実態等を踏まえ、追加提言がまとまりましたので、下記のとおり提言いたします。

尚、4 月 15 日に提出した提言を参考資料として添付しておりますので、改めてご一読いただければ幸いです。

記

■追加提言

1. 受委託契約に盛り込むべき遵守事項

- ①労働基準法等の労働法制遵守義務。
- ②受託者が労働法制に抵触することが予想される場合、または実際に抵触した場合の措置。
- ③受委託業務の明確化と現場への周知。
- ④新たに業務を受託する際、受託業務に関する教育・訓練期間の確保。
- ⑤委託者および受託者が負担すべき費用の明確化。
- ⑥付帯作業を含む業務内容および料金の明確化。
- ⑦契約内容は書面化し透明化の確保。

2. 安全教育の共通化と安全担当者の任命

- ①グランドハンドリングに関する基本的な安全教育の共通化。
- ②業務ごとの安全担当者の任命

3. 疲労管理プログラムの確立

- ①労働者の疲労管理は安全確保と密接に関係していることから、疲労管理に関わるシステムの導入。
- ②勤務が運航に影響を受けるため、労働時間管理や休息の確保に向けた労務管理の徹底。

4. 共通したグランドハンドリングマニュアルの作成

- ①業務ごとの標準作業マニュアルの作成。
- ②業務スキル維持のための定期訓練の実施と仕組みづくり。

5. 技能資格とトレーニング

- ①共通した技能資格の導入と、その資格取得のためのトレーニング制度の構築。
- ②訓練教官の育成および任命。
- ③資格維持要件の明確化と、同業他社に転職した際の取り扱い方針の整備。

6. GSE（地上器材）の管理

- ①各種器材の操作手順を標準化し、同種器材は操作手順の共通化を図る。
- ②GSE の定期的なメンテナンスの実施。

7. 外国人労働者に関する対応

特定技能や技能実習生など、外国人人材の受入れ体制の拡充および生活相談体制の強化に向けた国・企業の支援

8. 標準化や共有されたデータの管理と監視。

以上、8 項目について追加提言を致します。

また、WG の進め方について検討していただきたい点があり、以下に追記いたします。

適正取引等推進のガイドライン策定に向けたワーキンググループでは、受託側および委託側からのヒヤリングが実施されました。受託側からは空港グランドハンドリング協会、委託側からは定期航空協会が見解を述べています。

しかしながら、両団体には大手航空会社であるANAとJALが加盟しており、また空港グランドハンド協会の役員にはANAやJAL在籍者や会社役員として経営に携わる方も含まれていることから、利益相反が生じる懸念があり

ます。

そのため、受託側に関してはより幅広い事業者のヒヤリングを行う必要があると考えておりますことを、ここに申し添えます。

以上